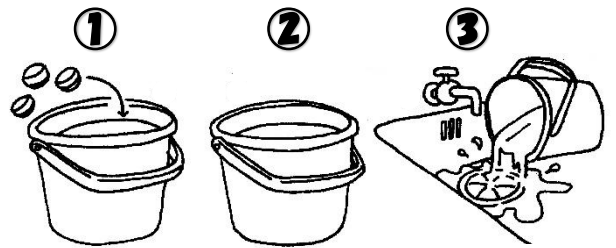




バイオボール



①
バイオボール
を水に溶かし
て軽く混ぜる

②
6～8 時間そ
のまま置いて
培養する

③
その後、排水
口等から流し
込む

基本の使い方ワン・ツー・スリー

Q1 バイオボールとは何ですか？

A1

バイオボールとは、種々の微生物の中から、より**優良な微生物**を取り出して、溶解性の栄養分の中に**固形化**し、**休眠状態**にしたものです。

Q2 バイオボールにはどのような微生物が混合されているのですか？

A2

様々な微生物が配合されています。嫌気性菌・好気性菌・光合成細菌・通性嫌気性菌など、**約 14 種類の微生物**が配合されています。ものすごいパワーの変異株を選別してあり、**1 粒 (約 10g)** に**約 100 億個**の良性微生物が混合されています。病原菌等を含む有害微生物は混入されていません。

Q3 バイオボールはどんな効果がありますか？

A3

バイオボールを使用することによって、**動植物性油脂**やタンパク質・デンプン・セルロース・炭化水素、更に**硫化水素・アンモニア**などを分解し、**悪臭の除去や汚物の分解処理**にすばらしい効果を発揮します。

Q4 浄化槽、合併槽での使用方法は？

A4

〈一般家庭 小型浄化槽 5 人槽の場合の目安〉

① 初回はバケツ (約 10L の水) 等の容器に、バイオボールを 3～5 個入れ、6～8 時間培養した後に、排水口や便器に直接流します。

② その後、毎週、水洗タンクや小便器に 1～2 個を投入して、トイレの使用後の水を流せば、浄化槽・合併槽に流れていき、すばらしい効果があります。

※ ただし、浄化槽・合併槽の大きさにより、使用方法が異なりますので、当社にお問い合わせください。

※①の方法で培養しますが、この液を数日間そのままにしておくと、飢餓状態に陥り死滅して腐敗菌が優勢となりますので、**培養後の保存は出来ません**。

Q5 グリストラップでの使用方法は？

A5

最初に**グリストラップを清掃**することが大切です。そして、グリストラップの中にバイオボールを Q4 の①の方法で**培養して流し込み**ます。

※ エアレーション装置を設置すると効果が高まります。(空気を送ることで、

好気性の有用微生物の活動が活発になります。)

※グリストラップは、大きさ・汚れ具合・排水量によって投入必要量に大きな差がありますので、当社にお問い合わせください。

Q6

A6

バイオボールの保管方法は？有効期間は？

20℃以下の涼しく、直射日光の当たらない所で、湿気を避けて保管して下さい。水分を含むと休眠中の微生物が活動を開始してしまいます。有効期間は一年間です。※バイオボールを Q4 の①の方法で培養した液を種菌として、経代培養すると次第に効果は失われます（世代を経ると必ず変異します）。

Q7

A7

厨房内でバイオボールを使用する際に注意する点は何ですか？

強アルカリ性の洗浄剤や漂白剤、強酸性の薬剤などを使用しないで下さい。微生物が死滅してしまい十分な効果が得られなくなります。

こういった特徴を持つ洗浄剤は、塩素系（次亜塩素酸ナトリウムなど）、強アルカリ性剤（苛性カリ、苛性ソーダなどが主成分の洗浄剤：食器洗浄機の洗剤によく使われます）、強酸性剤（塩酸、硫酸など）です。

Q8

A8

では、どのように対処すれば良いのでしょうか？

簡単な方法としては、バイオボールを流す排水ルートと、上記洗浄剤を流す排水ルートを分けることです。

次に、食器洗浄機等の洗浄剤使用量を抑えて使用するという方法があります。熱湯と水圧だけでも、食器の汚れはある程度落ちるので、ある程度抑えられます。当社の業務用食器洗剤「植物園」で漬け置き洗いをした後に、食器洗浄機にかけてみて下さい。

Q9

A9

汲み取り式トイレでの使用はどうでしょうか？

汲み取っていただいた後、バケツ（約 10L 水）にバイオボールを 3～5 個入れ、6～8 時間培養した液を、まんべんなく撒いてください。汚泥の分解を促進し、悪臭の除去が期待出来ます。効果をみながら継続して入れましょう。

Q10

A10

使用量は？

たくさん使うほど、また、頻繁に使うほど効果はあります。経済性から、最初に可能な場合は、清掃し、初回は多めに施し（10 粒とか）、以降毎日か数日おきに 3 粒程度とし、施用間隔を開けていき、効果が無くならない範囲で使用します。

Q11

A11

効かない場合は？

汚泥や悪臭物質、また排水量が、施用量に対して多すぎるので、汚泥量を小さくする他の対策と合わせて施用してはどうでしょうか。（効かないというより、効かない条件下ということです。）

最終更新日：2018 年 1 月 26 日